大正10年頃 子守り・筒袖（つっそで）・サイジンコ

写真提供・塩山剛さん（西今町）

世界40数カ国で放送されたNHKの連続テレビ小説『おしん』を思い出させる、真っすぐで明るい笑顔は無条件で感動的。この女の子は小学3、4年くらいでしょうか。大きな前歯が奇麗に生えそろっています。おんぶされた弟は2、3歳くらいでしょうか。ぼろ布に包んで、大事そうに抱えているのはサイジンコ（イタドリ）。大きな竹かごの中には、ワラビやゼンマイが入っているようです。男の子がおもちゃにしている竹には、ツツジの花が挿してありますね。

背負いひもは擦り切れ、よく使い込んでいることが分かります。綿入れの筒袖の着物は自家栽培の綿でお母さんかおばあちゃんに縫ってもらったのでしょう。筒袖はこの頃の子どもの普段着です。やや小さくなり、よく着込んで擦り切れた着物はお下がり（お古）かもしれませんね。古くても、洗濯され清潔そうです。

女の子はおそらく学校にも弟を連れて行き、学校から帰ると、腰に竹かごをぶら下げ、子守りをしながら山歩きをしてサイジンコやワラビなどを採り、夕方家に帰って風呂たきをするのでしょう。この頃、子連れでも学校に行かせてもらえる子は恵まれているほうでした。

この素朴でひたむきな心を、わたしたちは豊かな生活と引き換えに失ってしまったように思います。貧しくとも「幸せ」というものがこの笑顔の中にはあります。

このコーナーは歴史的文化資産のデジタルアーカイブ（古写真のデジタル化）事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
TEL22-4567

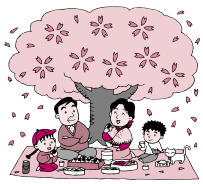
表紙について

3月13日、梅の里公園

3月1～28日に開催された「梅の里」梅まつり。餅投げや梅の種飛ばし大会なども催され、市内外からの多くの観光客でにぎわいました。

春の穏やかな日差しに輝く梅の花。みんなの笑顔がはじけていました。

つ・ぶ・や・き 編集室



入学や就職、引っ越しなどで環境が変わることが多い4月。新たに出会う人との付き合いも増えていきます。きらめく津山人・楠さんの「声はその人そのもの」という言葉を胸に刻み、電話やメールだけでなく、対面して声を聴くことを心掛けたいものです。（2）

久米探梅俳句会が開催された日も梅の里公園へ。咲き誇る梅の花をめでながら吟詠する参加者の姿を撮影しました。おかやま国民文化祭プレ・イヤーフェスティバルとして開催されましたが、今年度はいよいよ本番の年。これからも応援事業が目白押しだそうです。（&）

ウキウキの春なのに、ムズムズの花粉症のわたし。花粉だけでも『もう結構！』なのに、今年のこの黄砂はなに？ 周りの山並みが白くかすんでまったく見えない…。7歳にして花粉症の息子は鼻水をたらしながら「なんで砂まで飛んでくるの～」と泣いています。（和）

編集・発行（毎月10日発行）
津山市総合企画部市長公室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
TEL0868-23-2111㈹ FAX0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
http://www.city.tsuyama.okayama.jp/

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後は**リサイクル（雑誌）**にご協力ください